平成　　年　　月　　日

さいたま市北柔道連盟

会長　佐藤　正和　様

報告者

　　　　　　　　　　　事故取扱報告書

標題につき取り扱った概要は下記のとおりであったので報告します。

記

1　取扱日時　　平成　　年　　月　　日　　時　　分

2　発生日時　　平成　　年　　月　　日　　時　　分から　　月　　日　　時　分の間

3　発生場所

4　担当者

5　担当者の任務

6　事案対象者

　　　住　所

　　　連絡先　☎　　　　　－　　　－　　　　　　📴　　　　－　　　　－

　　　氏　名　　　　　　　　　　　　西暦　　　　　年　　月　　日生まれ　　　歳

　　　所　属　　　　　　　　　道場　　　　　　　　　　　　学校　　年

7　取扱時の概要

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以下別紙

8　対応・処置

1. 医療機関等との連携

　　　　時　　分　　　　　　　　が（救急隊・　　　医院　　　　　病院へ）連絡

　(2)家族等への連絡

　　　　　　　　　が　　時　　分　　　　　　　様へ（電話・メール）にて概要を説明

　(3)家族等　　　　　　　様からの回答

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以下別紙

9　医療処置等の結果

10　継続対応の有無

平成　　年　　月　　日

指導者各位

さいたま市北柔道連盟

会　長　　佐藤　正和

公印省略

事故発生時等における適正な対応について

師走の候、指導者の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、事故防止については各種講習会等において度々指導を戴いているところであります。しかしながら、如何に万全を尽くしても事故は期せずして発生するのが常であります。不幸にして事故が発生した場合、初期対応の誤りから大きな問題に発展することが往々にしてあります。万が一、指導中或いは審判中に事故が発生した場合本人はもとより、その家族等への適正な対応が求められることになります。特に、言動には十分な配慮が必要であり事実関係を明確に担保する意味からも、当連盟主催における練習中・試合等の如何にかかわらず、別添のとおり事故報告書を提出して戴くこととしました。何卒、趣旨ご理解のうえご協力を戴きたくお願い申し上げます。末筆ながら、来たる新年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

平成　　年　　月　　日

指導者各位

さいたま市北柔道連盟

会　長　　佐藤　正和

公印省略

事故発生時等における適正な対応について

師走の候、指導者の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、事故防止については各種講習会等において度々指導を戴いているところであります。しかしながら、如何に万全を尽くしても事故は期せずして発生するのが常であります。不幸にして事故が発生した場合、初期対応の誤りから大きな問題に発展することが往々にしてあります。万が一、指導中或いは審判中に事故が発生した場合本人はもとより、その家族等への適正な対応が求められることになります。特に、言動には十分な配慮が必要であり事実関係を明確に担保する意味からも、当連盟に所属するすべての団体における練習・試合等の如何にかかわらず、別添のとおり事故報告書を提出して戴くこととしました。何卒、趣旨ご理解のうえご協力を戴きたくお願い申し上げます。末筆ながら、来たる新年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

平成○○年××月△日

さいたま市北柔道連盟

会長　佐藤　正和　様

報告者　　横山　縦男

　昇級審査中における骨折　　事故取扱報告書

標題につき取り扱った概要は下記のとおりであったので報告します。

記

1　取扱日時　　平成○○年××月△日13時45分

2　発生日時　　平成○○年××月△日13時40分から××月△日13時43分の間

3　発生場所　　○○武道館錬成道場内　第〇試合場

4　担当者　　　横山　縦男　　　　　　山村　川三

5　担当者の任務　審判員　横山　縦男　　時計係　山村　川三　　救護員　高野　安治

6　事案対象者

　　　住　所　　　さいたま市見沼区東大宮○○―××

　　　連絡先　☎　048－685－××××　📴　090－1234－××××

　　　氏　名　　　海野　深子　　　　西暦　2002年4月15日生まれ　15歳

　　　所　属　　　○×　道場　　△△高等学校　1年

7　取扱時の概要

　　　当該負傷者は、さいたま市北柔道連盟が主催する昇級審査会において、相手の○○

　　　選手（××高校3年）と対戦中、左右の組み手争いから右背負い投げを受けこれを

　　　防ごうと右手を畳につきうつ伏せに倒れたため横山審判員が試合を中断させた。

8　対応・処置

1. 医療機関等との連携

　　13時55分　高野　救護員が（急隊へ・　　　　　医院へ　　　　　病院へ）連絡

　(2)家族等への連絡

　　　担当係員○○が14時15分負傷者の母親××　様へ電話・メールにて概要を説明

　(3)家族等　母親である海野××　様からの回答

　　　　試合中の出来事で、審判員の先生の適切な対応により大事に至らず済みました。

　　　　病院の先生の話では、右手橈骨骨折で全治3週間とのことでした。娘はこれに懲

　　　　りることなく今後も柔道を続けると申しておりよろしくお願いします。

9　医療処置等の結果

　　　　○○医院の××医師によれば右手橈骨骨折で全治3週間であることが判明した。

10　継続対応の有無

　　　　本件については、保険対応することを説明し母親の了解を戴いた。